

1月 給食だより

笠岡市学校給食センター

◆おうちの人と読みましょう。

【毎月19日は食育の日】



新年明けましておめでとうございます。「一年の計は元旦にあり」という昔からの言葉があります。元旦にその年の色々な計画を立てて、それに向かって一年を過ごそうという意味です。健康に1年を過ごすための目標を立ててみてはどうでしょうか。

今年もみなさんの健やかな成長を願って、安全でおいしい給食をつくっていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

1月24日～30日は、全国学校給食週間です。

学校給食は明治22年に始まりました。岡山県では明治44年に、小田郡小田村（現在の矢掛町小田）において昼食に「ふかしいも」を出したのが学校給食の始まりです。学校給食週間中には、今のような形の学校給食に至るまでの長い歴史を振り返り、給食に携わる人々の苦勞や努力を知り、学校給食の意義や役割を見直してみましよう。また、感謝の気持ちをもって給食をいただきます。

笠岡市内の小中学校でも、給食集会や交流給食など、給食に関するさまざまな取り組みが行われる予定です。

学校給食の歴史を振り返ろう

明治22年(給食のはじまり)



おにぎり 塩ざけ つけもの

山形県鶴岡市の忠愛小学校で、お弁当を持ってくることができない子どものために昼食が出される。

昭和22年



トマトシチュー 脱脂粉乳

第二次世界大戦の食糧不足で一時中断されたが、外国からの援助物資をもとに給食が再開される。

昭和25～30年頃



コッペパン 脱脂粉乳 鯨肉の竜田揚げ
せん切りキャベツ ジャム

援助資金の打ち切りなどで中止の危機を迎えたが、全国で継続の要望が高まり、昭和29年「学校給食法」が制定される。

昭和40年頃



ソフトめんのミートソースかけ 牛乳
フレンチサラダ チーズ・みかん

脱脂粉乳にかわり、牛乳が給食に取り入れられる。昭和44年、笠岡市学校給食センターが設立される。

現在



ごはん 牛乳 いかの煮つけ
酢の物 豚汁 みかん

郷土料理や地場産物を活用し、栄養バランスのとれた献立を提供しています。そして、平成30年4月、大井南地区へ新しい学校給食センターが完成します。

現在の学校給食では、子どもたちが将来にわたって自分で健康を考えた食事ができるように、食生活の参考となるような“お手本”としての役割も担う献立を考えています。



春の七草、知っていますか？

早春に、雪の下からいち早く芽吹く七草には生命力があるとされることから、1月7日には、家族の健康を祈って七草の入った七草粥を食べる習慣があります。また、七草粥は、お正月においしい物を食べすぎて疲れているおなかにも優しい食べ物です。



学校給食展を開催します！

日時 平成30年2月11日(日)

場所 笠岡市民会館
(笠岡市生涯フェスティバル内)

来場お待ちしております。